

# 介護保険制度の周知と 福祉相談のあり方について



中山 龍蔵議員

介護保険は、町民の方々、特に老人世帯では複雑で理解が足りてないような気がする。町として介護保険制度の事をもっとやさしく周知徹底して欲しいと思うが。

## 周知徹底をはかる

町長

介護保険制度は、老後生活の最大の不安要因である介護を社会全体でささえるための仕組みとして、平成12年にスタートし既に4年が経過したが、要介護認定や介護サービスを利用するための手続き等内容が、多岐にわた

るため、制度の内容が十分理解されていない部分もあると思われます。町の広報誌に「シリーズみんなで支える介護保険」と題して毎月、制度の内容を紹介し、周知に努めています。また、高齢者で組織している自主グループ等が、ちま予防や介護予防のため、野方地区活性化センターや大丸地区農業構造改善センター等の施設を利用して活動されているので、その機会を利用し、職員が出向いて介護保険制度についての説明等を行い、介護予防、介護給付の適正化に努めております。

## 職員は常時 対応できる体制を

中山議員

担当職員が忙しい場合

また、休みの場合の対応はどうしているのか。

## 対応できる体制で 努力

町長

窓口や電話での相談等につきましては、要点を捉え迅速な対応ができるよう心がけ、各種の手続きや指導助言を行なっています。出張や外勤等により職員が少ないときも、必ず一〜二名は窓口で対応できるように体制で十分なサービスができるよう今後とも努めていきます。

## 福祉相談員の 配置の考えはないか

中山議員

町民の福利厚生のために、民生委員・児童委員

計45名の方々が地域の実情に即して活躍され、大変助かっているところではあります。児童虐待や児童の問題・介護保険など福祉全般の事について相談できる福祉相談員の配置の考えはないのか。

## 業務内容が多岐に わたるため検討する

町長

福祉に関する業務は多岐にわたるため、それぞれの担当係で相談にのっています。介護保険サービスの利用や高齢者福祉に関する相談等については、役場の窓口のほか、在宅介護支援センターを社会福祉法人「三峰会」と医療法人「玲心会」の二カ所に委託し、それぞれ相談員を配置し、在宅の要援護高齢者、もしくは要援護となる恐れのある高齢者、または、その家族に対し、各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるような体制づくりに努めています。福祉相談員の配置については、今後検討してまいります。



▶役場窓口での職員の相談対応